

PASKEN JOURNAL Vol.16

一過性脳虚血後の障害進行とグリア瘢痕形成過程におけるアストロサイトの挙動

安田あう子、立石成人、扇谷えり子、藤田哲也.....1

NK細胞と標的細胞との相互作用

安田あう子、宇野賀津子、町野満夫、三石瑠子、岸田綱太郎.....17

担癌患者モノサイトのグルタチオン含量と抗腫瘍免疫応答

宇野賀津子、三石瑠子、菅 典道、林 美恵、柏田由紀子、松崎智彦、奥野清隆、早乙女秀雄、藤原大美、羽室淳爾、岸田綱太郎.....25

進行癌患者のNK細胞におけるグラニューライシン発現の低下

NK細胞におけるパーフォリンとグラニューライシン発現の解析

岸 惇子、高森 靖、富田秀司、谷川真理、二万真樹子、小川一行、永田欽也、高野昇一、岸田綱太郎、藤田哲也.....35

免疫に関わる細胞の形態学的多様性：ヒト末梢血中の細胞

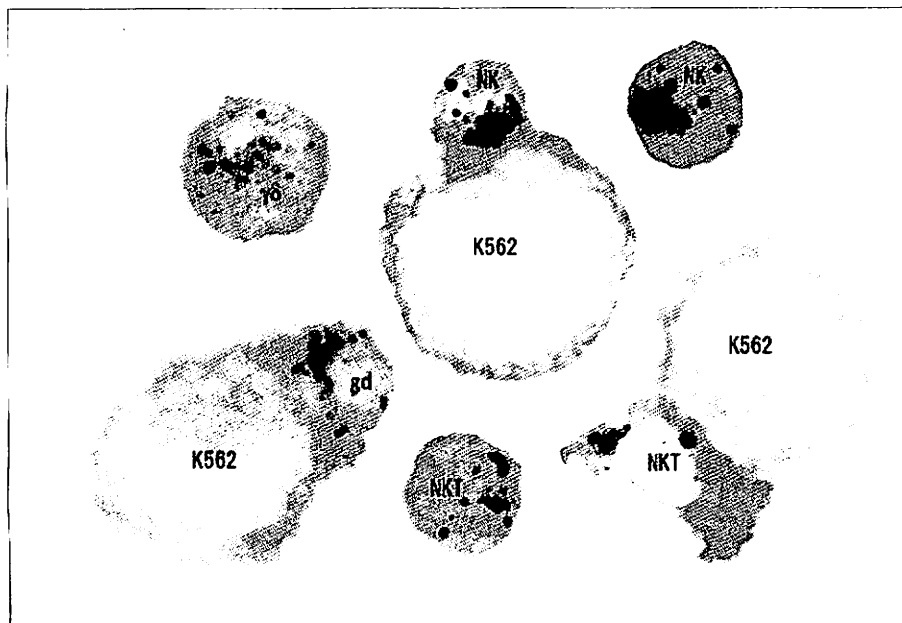
町野満夫、宇野賀津子、向仲照雄、岸田綱太郎、安田あう子.....44

免疫シナプシスの微細構造

町野満夫、向仲照雄、安田あう子、宇野賀津子、岸田綱太郎.....49

NK、NKT、 $\gamma\delta$ T細胞のK562細胞障害時の相互作用

宇野賀津子、安田あう子、三石瑠子、町野満夫、岸田綱太郎.....51



表紙説明：末梢血中に存在し、自然免疫を司るリンパ球（NK細胞：NK、NKT細胞：NKTと $\gamma\delta$ T細胞： $\gamma\delta$ ）とこれらのリンパ球がガン細胞（K562）を攻撃している像
赤は細胞骨格アクチンを、緑は細胞障害に関わるタンパク「パーフォリン」を示す。リンパ球はガン細胞（K562）と接着し、接着部位ではリンパ球からパーフォリンやグランザイム等の細胞障害性物質がガン細胞に注入され、その結果、ガン細胞は死に至る。（撮影：安田あう子）